



2023年 こどもプラザのおともだちに向けて
絵本作家・児童文学・YA作家の先生方からこんなに素敵なメッセージが届きました。



「みんなそれぞれちがうけど、どひょうのうえではおなじなかま！ さあ、とくいわざをいかしてちょうせんだー!! どすこいすしずもう」
(アンマサコ先生/絵本作家)

「スマホでマンガを読んだりゲームをするのは楽しいけれど、じつは図書館もけっこう楽しいよ！ 6万冊の中からお気に入りの本を見つけるのってドキドキ、ワクワク宝探しみたい。今日は何冊発見できるかな？」 (市原淳先生/絵本作家)

「こどもプラザ図書館へ訪れるみなさんへ。図書館って宝島に似ていると思いませんか？ こっちの本、そっちの本と手を伸ばしていると、思いもよらない出会いや発見があります。たくさんの冒険をしながら、あなたにとっての宝ものを見つけてください。」
(いとうみく先生/児童文学・YA作家)

「図書館にあるたくさんの絵本や物語の中から、自分のお気に入りの一冊を見つけることは簡単なことではありません。ネット動画のようにおすすめの絵本も教えてはくれません。頼れるのは自分の感と知識だけ。そんな宝探しを楽しめるのも図書館ならではの。」
(いりやまさとし先生/絵本作家)

「あけましておめでとうございます。知識は誰にも奪うことができない自分だけの宝物です。たくさんの本を読んで、過去の出来事を、他国との違いを、自分の知らなかった新しい世界を知って、自分の宝物をどんどん増やしてください。」 (香月美夜先生/YA作家)

「絵本はとても魅力的です。大人から子供まで誰もが楽しめます。いろいろな人間がいるように、いろいろな絵本があります。自分にぴったりの絵本をみつけてください。tupera tuperaの絵本も、なかなかオススメですよ。」 (tupera tupera 亀山達矢先生/絵本作家)

「本はとびら そっと もって ぱっと ひらいて じっと よめば あたらしい せかいが どんどん ひろがるよ 本を よんで みつけたものは たからもの だれからも ぬすまれない いつまでも なくなるない きみの なかで ずっと かがやく たからもの」 (北川チハル先生/絵本作家)

「こどもプラザ図書館に集うよい子のみなさんへ。本を読んで 心が動く 本を読んで 考える 本を読んで <自分>ができる」
(くすのき しげのり先生/絵本作家)

「こどもプラザ図書館オープンから半年、順調な滑り出しで何よりです。子どもたち、これからも恐竜絵本を楽しんでください！そしてのびのびと、恐竜のように元気に育って行ってくださいね！ガオ〜！」 (黒川みつひろ先生/絵本作家)

「物語は海より深く空より広いです〜たくさん本を読んであなたの世界をどこまでも大きく広げて楽しんで下さいね♥」
(越水利江子先生/児童文学作家)

「こどもたちへ 生まれてきたきみたちは、お父さん、お母さんの宝物。成長したら、もっと広い世界、国境を超えた宝物に。そして、人にだけでなく、植物や動物たち、海や山、自然を大切にできる地球の宝物になってください。」 (巢山ひろみ先生/児童文学作家)

「みなさん 本は好きですか？僕は大好きです。子供の頃は図書館に通っていました。いろいろな絵本や小説を読みました。そして絵本作家になりました。さあ！みんなも図書館で遊ぼう！」 (塚本やすし先生/絵本作家)

「楽しい日が続けばいいけれど、そうではない日もありますね。泣きたくなるような放課後、悔しくて眠れない夜もある。でも、それはみんな、生きていく味わいです。どれだけたくさんの味があるのか、新しい一年は日記に書いてみよう！」 (ドリアン助川先生/作家)

「2023ねん。あたらしいとしは、どんなとしになるでしょう。どんなとしにしましょうか。かなしいことよりも、うれしいワクワクが、たくさんありますように。なみだがでるひよりも、フフフとわらうひが、いっぱいありますように。」 (とりごえまり先生/絵本作家)

「たまにはわき道にそれて道草するのも楽しいですよ。迷った時は面白い方を選ぼう！お腹がすいたら食べよう！疲れたら寝よう！」
(中垣ゆたか先生/絵本作家)

「子どもの本には、大人にはわからない、子どものころにしか味わえない面白さがあります。子ども時代は、実はとっても短いものです。今しか楽しめない読書の喜びを思いっきり味わってください。」 (はらまさかず先生/絵本作家)

「本は楽しみであり、暇つぶしであり、勉強であり、人それぞれとらえ方が違うと思います。こどもにとって未来の可能性を広げるツールだと、私は思います。たくさん本を読んで、それが確実に何になるのかはわかりません。ただ、土に種を植えるのと同じかと思えます。水と栄養を与えることで将来何かが芽吹くやもしれない。こどもプラザ図書館さんにはそのたくさんの種を植える場となっていただきたいです。」 (日向夏先生/YA作家)

「【2023年の子どもたちへ】無理矢理本を読もうなんて、頑張らなくて良いんです。厭なことがあったら、本の中に逃げてきたって良いんです。本は、みんなの好きな時にそばにいて、いろんな話を聞かせてくれる友だちだからね！」 (ひろかわさえこ先生/絵本作家)

「図書館はドキドキワクワクがいっぱいです。少女アリスのあとからウサギ穴に落ちたり、ホビットのフロドと旅の仲間になったり、名探偵カッレといっしょに犯人を追跡したり。さあ、つぎはどんな冒険にかけようかな？」 (松原秀行先生/児童文学作家)

「新年をむかえたきみたちへ！ 新しい年、いいことがいっぱいあるといいな。でももし、ころんじゃったら？ケンカしたら？ だいじょうぶ。悲しくてしかたがないときは、本の仲間たちと遊べばいい。そしてまた外の世界へ羽ばたいてごらん。キミたちは無敵だ！」
(森 くま堂先生/絵本作家)

「むずかしい本は大人にまかせて、こどもは「たのしい本」をた〜くさん読もう！」 (森沢明夫先生/作家)

「子どもの頃、図書館で借りてきて読んだ本で、見たことのない世界や人や生き物、そして様々な言葉に出会ったこと。それはかけがえのない宝物でした。本は図書館で出会える、友だちで魔法使いで羅針盤です。」 (山本和子先生/童話・絵本作家)